

住宅建築賞2026

- 審査員** 審査員長：吉村 靖孝
審 査 員：岡安 泉／小西 泰孝／中川 エリカ／西沢 大良
- 主催** 一般社団法人 東京建築士会
- 企画** 東京建築士会 事業委員会
- 後援予定** 公益社団法人 日本建築士会連合会
一般社団法人 東京都建築士事務所協会
一般社団法人 日本建築学会 関東支部
公益社団法人 日本建築家協会 関東甲信越支部
株式会社 新建築社
株式会社 エクスナレッジ
- 協賛** 株式会社 市浦ハウジング&プランニング
株式会社 建築資料研究社
株式会社 総合資格
日本ベルックス株式会社

お問合せ先
一般社団法人 東京建築士会
中央区日本橋富沢町11-1 富沢町111ビル5階
TEL: 03-3527-3100 FAX: 03-3527-3101
[E-mail] info@tokyokenchikushikai.or.jp
<https://tokyokenchikushikai.or.jp>

RESIDENTIAL ARCHITECTURE PRIZE

住宅建築賞2026入賞作品集

住宅建築賞 入賞者

住宅建築賞 金賞

須藤 剛

住宅建築賞

阿部 勤 + 吉田 州一郎 + 吉田 あい
向山 裕二 + 笹田 侑志 + 上野 有里紗 + 井上 大裕 + 池田 章人
澤田 茉莉子 + 藤田 雄介 + 寺澤 宏亮 + 青井 哲人 + 青井 亭菲
可児 公一 + 植 美雪

住宅建築賞 奨励賞

森屋 隆洋

住宅建築賞 入賞作品

2026年 | 一般社団法人 東京建築士会

応募主旨	審査員長 吉村 靖孝
------	------------

【東京のグローバリティ】

昨年と同様に「東京のグローバリティ」で作品を募集したい。もともとこの章は「東京のローカリティ」というテーマのもと作品を募った。手前味噌ながら優れた作品を集めることができるなかなか良いテーマだったので、そのまま「東京のローカリティ」を踏襲しようと思っていたのだが、しかし逆にグローバリティを問うてはどうか、という縷の望みがムクムクと沸き起こった。天邪鬼な私をご容赦願いたい。まったく逆のテーマで募集することしたい。日本には今、円安で大量の外国人が流入している。出国する日本人の数の倍を優に超える人が海外から来る時代である。日本人は国内にいても国際的にならざるを得ないと言えるだろう。またSNS全盛の時代にあって日本の住宅は、たとえ敷地が国内であろうとも海外でいきなり注目を集めることが容易になった。逆に海外に事務所を置くのもあり得る。海外の作品は住宅建築賞の枠の中では見ることができないのだが、彼らが東京でやった仕事というならそれも有り得るだろう。あるいは建築というメディアはノンバーバルで国境がないというが、それも新たな次元を迎えていると言えるだろう。建築をめぐる言説は有効だと思うが、それもSNSを前にすると消えてしまう。そのとき建築はどういう顔をしているのだろうか？答えを求めるものではないが、今この時点のグローバリティとの向き合い方を問いたい。「東京のグローバリティ」は可能か。その可能性を押し広げるような作品の応募を期待している。

応募要項	
------	--

- (1) 上記の主旨にかなうもの
- (2) 一戸建住宅、集合住宅及び併用住宅等とする(大幅な増改築、公共の建築も含む)
- (3) 作品は下記提出期限日より3年以内に竣工したものとする
- (4) 雑誌等に発表したものでもよい
- (5) 建築物の所在地は1都3県(東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県)とする
- (6) 応募の点数は自由とする
- (7) 審査員の関与した作品は応募できない
- (8) 応募者は予め建築主(所有者)・施工者の了解を得て応募すること
- (9) 応募作品の確認済証及び検査済証が必要。応募作品が確認申請不要物件の場合は遵法であること

応募要件	
------	--

賞の対象	設計者・建築主・施工者の3者を顕彰するものとする。
応募資格	応募作品を設計した建築士資格を有し、建築士会正会員である者 登録料 本会正会員：無料（申込時に入会した方を含む） 他道府県 建築士会 正会員：1点につき5,000円（作品を郵送する場合、登録料は現金書留にてお送りください）
提出資料	・本会指定申込書 ・本会指定A2版台紙 ・確認済証および検査済証のコピー（確認申請不要物件は、不要理由を明記した文章を添付すること） 図面および完成写真（内観・外観数点）、平面図、立面図、断面図、配置図、設計主旨（300字以内）等を組み込んで構成したプレゼンテーションを、本会指定A2版台紙に貼付のうえ提出すること（縦使い、パネル化しない）。なお、写真の大きさや図面の縮尺、レイアウトは自由とし、プレゼンテーション表現自体は審査の対象としない。
提出資料取得方法	本会指定申込書およびA2版台紙は、本会事務局で配布しています。郵送を希望される場合は、宅配便（着払い）での送付が可能です(送料目安:都内約1,200円)。専用申込フォーム(右記QRコード)よりお申し込みください。 ※専用申込フォームの受付は2月4日(水)までです。土・日・祝日は発送を行っておりません。また、即日発送はできませんので、余裕をもってお申し込みください。
提出先・問合先	一般社団法人東京建築士会 住宅建築賞係 〒103-0006 中央区日本橋富沢町11-1 富沢町111ビル5階 TEL 03-3527-3100
提出期限	2026年2月6日(金) 窓口へ直接お持込みの場合は、2月6日(金) 17:00 迄とする。郵送の場合は、2月6日の消印有効。

審査員	
-----	--

審査員長 | 吉村 靖孝

審査員 | 岡安 泉／小西 泰孝／中川 エリカ／西沢 大良

審査	
----	--

1 | 書類審査に通過したものは原則として現地審査する。

2 | 入賞発表 2026年4月下旬

- ・審査結果については、応募者に直接通知する
- ・応募者は審査結果について異議を申し立てることができない

表彰及び賞金	1	入賞者(5点以内)に対し賞状(盾)及び賞金を贈り、入賞者の中から特に優れたものには金賞を贈る。 住宅建築賞 70,000円 住宅建築賞金賞 150,000円 ※入賞には満たないが今後の活躍が期待される作品には奨励賞を授与する場合がある。奨励賞には賞金の授与は行わない。
	2	建築主、施工者には入賞を記念する盾を贈呈する。
	3	表彰式:8月下旬入賞レセプションの席上

応募図面の取扱い	1	応募A2版台紙の公表及び出版の権利は主催者が保有する。
	2	入賞作品は本会ホームページ及び会報等に掲載する。また、入賞作品展及び関連イベント(講評会)を実施する(いずれも8月中旬開催予定)。
	3	入賞作のうち、東京都内に建築されたものの中から1点を「関東甲信越建築士会ブロック会」の優良建築物表彰候補作品として、推薦することがある。
	4	応募作品は返却しない。

審査結果(2026年 住宅建築賞)	応募点数 69点 住宅建築賞 入賞5点(内金賞1点)、奨励賞1点
-------------------	----------------------------------

住宅建築賞金賞	ニシイケバレイ (東京都)	■設計者:須藤 剛(株式会社須藤剛建築設計事務所) ■建築主:深野商事 ■施工者:日神山内装、AGAIN総合リフォーム、渡邊建設株式会社(建物構造:木造、RC造)
住宅建築賞(受付順)	上原坂道のマンション (東京都)	■設計者:向山 裕二+笹田 侑志+上野 有里紗+井上 大裕+池田 章人 ※元所員(株式会社ウルトラスタジオ) ■建築主:紀尾井柏産業有限公司 ■施工者:株式会社礎コラム(建物構造:RC造(耐震壁つきラーメン))
	自由な家 (東京都)	■設計者:阿部 勤／吉田 州一郎+吉田 あい(アキチ アーキテクトー級建築士事務所) ■建築主:堀 勝律 ■施工者:株式会社篠崎工務店(建物構造:RC造)
	ジャジャハウス (東京都)	■設計者:澤田 茉莉子+藤田 雄介+寺澤 宏亮+青井 哲人+青井 亭菲 ■建築主:青井 哲人+青井 亭菲 ■施工者:株式会社水雅(建物構造:木造軸組工法)
	MEIGETSU-K (神奈川県)	■設計者:可児 公一+植 美雪(建築設計事務所 可児公一植美雪) ■建築主:可児 公一+植 美雪 ■施工者:横溝建装(建物構造:S造)
住宅建築賞奨励賞	里山だった場所と融合する家 (千葉県)	■設計者:森屋 隆洋(MAP株式会社) ■建築主:熊崎 隆人 ■施工者:忠創建設株式会社(建物構造:木造)

参考資料	
------	--

一次審査結果 2026年2月25日(水)実施。応募作品69点より、1人7点～10点を投票

【投票内訳】

投票した作品番号											投票結果 (計26点)		
審査員	作品番号										獲得票数	作品番号	合計
吉 村	4	5	13	38	43	45	46	54	61	66	4 票	46	1作品
岡 安	5	6	21	23	27	59	64	—	—	—	3 票	5、38、43	3作品
小 西	5	8	24	38	43	46	47	54	—	—	2 票	13、24、54、60、61、66	6作品
中 川	12	13	14	24	43	46	53	60	66	—	1 票	4、6、8、12、14、21、23、27、45、47、53、55、57、59、63、64	16作品
西 沢	38	46	55	57	60	61	63	—	—	—			

投票で選出した26作品より議論のうえ、右記6作品を一次審査通過とし、二次(現地)審査対象とした。二次(現地)審査は、3月10日(火)に実施した。岡安審査員は諸般の都合により審査の直接参加が困難となったため、審査員4名による二次審査を行い、結果を報告・協議した上で、賞を決定した。

一次審査所感	審査員 岡安 泉
--------	----------

昨年に引き続き審査員として一次審査に加わせて頂いたが、二次審査へは同行できなかったため、一次審査で感じたことを書かせてもらう。残念ながら昨年同様、自然採光や人工光の工夫に唸られるようなものを一次審査の提出作品の中から見つけることができなかった。これは提出資料の文字制限などにも理由があると思うが、昨年二次審査で現地を訪ねたことで理解できることが非常に多かったことから、もう少し光について触れるスペースを確保できなかったものかと個人的には感じている。とはいえ昨年同様の多くの提出作品に触れ、さまざまな種類の思考や工夫の一端を資料を通じて見ること、感じることでできたことは、大変有意義な時間であった。

今回審査した住宅は、いずれも現代の住環境や建築のあり方に対して明確な視点を持った作品であり、それぞれ異なるアプローチを通して、建築が人間の生活にどのように関わりうるのかを提示していた。単に空間的な新規性や造形的な完成度を競うのではなく、敷地条件、周辺環境、住まい手の行為、時間の蓄積といった複数の要素をどのように建築化しているかという点において、全体として非常に水準の高い見学となった。

「ジャジャハウス」は、内部空間の豊かさが印象的であった。空間の切り替わりや視線の抜けが巧みに構成されており、住宅でありながら小さな都市的体験を内包している。素材やディテールの扱いにも一貫性があり、建築全体に独特の空気感を生み出していた。

「MEIGETSU-K」は、極めて抑制的な構成の中に繊細な秩序を持った建築であった。光やスケールの扱いが丁寧であり、日常の静かな時間を支える空間として高い完成度を感じさせた。過剰な操作を避けながらも、住まいの豊かさを静かに成立させている点は評価できる。

「里山だった場所と融合する家」は、裏山で採れたクスギやコナラといった広葉樹をそのまま構造材料として使う作品である。建築が自然を模倣するのではなく、環境との距離感を丁寧に調整している点は重要であり、現代住宅におけるランドスケープとの関係を考えるうえでも示唆的な作品であった。そういった意味では誠実さが感じられるものの、その木々の始点がグリッドを感じさせるのは、惜しいと言わざるを得ない感覚が残った。

「上原坂道のマンション」は、高密度な都市条件の中で共同住宅の可能性を探った作品として興味深かった。複雑な敷地条件を逆手に取りながら、断面的な構成や共用部のあり方によって、多様な居住体験を成立させている。特に坂道という都市地形を単なる制約条件としてではなく、空間体験へと転化していた点は印象的であった。

そうした中で、最終的に最優秀賞を争ったのが「自由な家」と「ニシイケバレイ」であった。この二作品は方向性こそ異なるものの、いずれも現代における「住まい」の枠組みを更新しようとする強い意志を持っており、単なる完成度を越えた建築的提

案として際立っていた。

「自由な家」は、その名の通り、「自由」という抽象的かつ困難なテーマを空間によって成立させようとした意欲作である。空間は固定的な用途から解放され、住まい手の行為や時間の変化に応じて多義的に使われる余白を持っていた。部屋を明確に分節しながら機能を与えるのではなく、空間相互の連続性や曖昧さによって生活を受け止めており、その柔軟性には高い説得力があった。また、住まい手に対して建築が過剰に規範を押し付けけない点にも現代的な意義が感じられた。屋上は夕刻のちょうど良い時間帯に訪れたこともあり、新宿の高層ビルを取り込んで思わず息を呑むような風景だった。

一方、「ニシイケバレイ」は、建築単体の完成度に加え、それが周囲の都市環境や人々の活動とどのように関係性を結びうるかという点において、極めて今日的な射程を持っていた。特徴的だったのは、建築を閉じた作品として完結させるのではなく、周辺の風景や街の流れ、人々の偶発的な関係性を積極的に取り込みながら場を形成していたことである。内部と外部、私的領域と公共性の境界が柔かく接続されており、その空間には常に他者や環境へ開かれた気配があった。それは単なる「交流」の演出ではなく、建築そのものが多様な居方を許容する構造を持っているからこそ成立しているものであり、現代都市における新しい共同性のあり方を示唆していた。

最終的な議論では、「自由な家」が持つ空間的純度と、「ニシイケバレイ」が持つ社会的な開放性との間で意見が分かれた。しかし、建築が個人の内部世界を豊かにするだけでなく、周囲の環境や人間関係を媒介し、新たな共同性を生み出していく可能性をより広く提示していた点を評価し、最終的に「ニシイケバレイ」に最優秀賞を与えることとした。

今回の見学を通して改めて感じられたのは、現代の住宅建築が、単なる「住むための器」を超え、社会や風景、人間の関係性を編み直す実践として位置づけられつつあるということである。それぞれの作品は異なる方法論を持ちながらも、建築が未来に対してどのような態度を取りうるのかを真摯に模索していた。その意味で、今回見学した六作品はいずれも、現代建築の重要な到達点を示すものであった。



一次審査風景



作品講評

2026年 住宅建築賞 作品講評

住宅建築賞 金賞

ニシイケバレイ

設計者

須藤 剛(株式会社須藤剛建築設計事務所)

講評者

中川 エリカ

近代建築を批評しようとする時、有効な手段のひとつは、建築と街を連続させることである。連続のさせ方にはこれまで現代建築を志す建築家の数だけさまざまなチャレンジがあり、代表的なものは、境界に対する扱い方であった。ニシイケバレイも、実に多岐にわたる「境界」において多様な提案をしているが、そのアイデアの量の多さと細やかさ、そして、長い年月をかけて果たしてきた建築家のリーダーシップの加減とあり方が、金賞を射止めた理由である。



ニシイケバレイは、様々なキャラクターの土地を十数代にわたって所有してきたオーナーの、大通り沿いと路地裏では土地のポテンシャルがそもそも異なるという実感がプロジェクトの大きなアドバンテージになっている。2019年時点では裏であることがネガティブに働き、建物も空地もバラバラに孤立していた土地において、2020年以降、裏ということをむしろポジティブに捉え、人間の身体に近いスケールでコーナーをつくりながら、ずるずるとつなげていくための境界が志向された。堀、植栽、私道の舗装、ピロティ、共同住宅の屋外階段など、外構か建築か、既存建物のリノベーションか新築かを問わず、スケールを横断して導入されたさまざまなアイデアは、驚くほど全てがきちんとはたらいっている。唯一の新築である共同住宅では間取りにもアイデアがあり、専有部の玄関が、居住部よりも数段レベルが低く、少し広い土間になっている。現地審査でお話した入居者の方によると、間取りに加えて街の雰囲気自分らしい生き方を考えるきっかけとなり、多くの未経験ながら土間で小商いを始めたのだという。その話をお伺いする際、2階にいる私たちにに対し、1階の私道を歩く

方が初対面にも関わらず目が合うと挨拶をしてくれた。

そこに生きる人間の生活を評価し、建築と街を連続させるためのアイデアを、実感をもちながら導入し続けたことにより、土地の雰囲気はあかろく一変し、平面だけでなく立体的にもコーナーがつながり、押し付けがましくない人間のつながりが生まれていた。一見弱々しくも思えてしまう操作が実は加減の良さであり、一見普通とも言える鋭すぎないアイデアの数々が実はマネしやすさである。ニシイケバレイとは、建築家が、あらゆる角度から建築が街で孤立しないように注意深く配慮し続け、微差を的確に捉えながら、建築スケールから街を見続けた結果であり、プログラムだけに頼るのではなく、常に物象化したからこそ、街を生きる人々の生き方や習慣に寄与することができたのではないだろうか。



核家族の後に初めて現れるような、血縁のない者たちが生きるための都市建築。敷地は新宿区の住宅街にある狭小地(37㎡)であり、前面道路スレスレに立つRC造3階建て(延57㎡)の各階に、小さな部屋(14㎡)と屋外テラス(4㎡)と屋外階段(4㎡)があり、屋上に小さな庭園(7㎡)がある。用途は3階を一人暮らしの住居、1階を半地下レベルの貸室(小店舗)として、2階と屋上庭園を住み手と借り手が共有している(3階の住み手は接客時や自宅仕事時に、1階の働き手は休憩時や昼食時に、それぞれ2階を使う)。住居面積が不足気味なのに、共有階を希望したのは住み手(建主)であり、それを受けて屋外空間の必要性や、開口や家具の重要性に行き着いたのは設計チームである(吉田夫妻と故・阿部勤による共同設計)。ゆえにこの建物には無駄なものがないが、代わりに残った設計対象が重要度を増している。

例えば2階の共有階(14㎡)に審査中に7～8名で入った時、狭苦しさをまるで感じなかったのは、屋外テラス・サッシ・家具の設計の成果である(サッシを開け放って屋内外を一体空間としたこと、しかもテラスの道路側開口の大きさと位置を工夫して外気にあふれた眺望の良い空間としたこと、さらに屋内外をまたぐテーブルやベンチなどの家具に十分な長さを与えたこと)。同じように3階住居や屋上庭園や屋外階段の詳細設計も効果的である。筆者はそれらを見ながら、幾度も「かわい性」(共同性でなく)という言葉を想起した。ただし1960年代風の「職場かわい」「盛り場かわい」といった意味ではなく、もっとミクロな視野での「かわい性」——「自室かわい」「窓辺かわい」「テーブルかわい」等——が焦点化されていたためだ。

全体としてこの作品は、今日の住宅が「家族の器」ではなくなりつつあることを示している(むしろ非家族の器である)。また「住むための機械」でもないことも示している(住むことと働くことが別の主体によって、互いに不可欠なものとなされている)。さらに、いわゆる「不動産資産としての住宅」といった社会通念から逃れた存在たりうることも示唆されている(2階の共有階はすでに私有財産の一部を放棄したのに近い)。完成度の高い非凡な建築。



空室と居住中の住戸の両方を見学して印象的だったのは、床が細かく分節され、立体的に構成されている点だった。逆梁状の梁が空間を横断しながら、敷地の勾配を巧みに取り込み、内部に複雑で豊かな断面構成を生み出している。一方、外観では円筒形の要素などディテールが強い存在感を放ち、それが階段室として機能していることも特徴的である。従来、建築家は抽象化や純化を志向する「白派」と、素材感や物質性に執着する「赤派」に二分されるように語られてきた(藤森)が、この建築では両者が独立したまま併存し、最後に接続されているように見える。その結果として、建築家がこれまで十分に向き合えてこなかった「ヴィンテージマンション」という領域に接近している点が興味深い。おそらく設計者自身はそうした見方を望まないかもしれないが、建築の成熟した魅力がそこには確かに表れている。



二次審査風景



核家族の後に初めて可能になるような、血縁のない6名が暮らす実験的な居住施設。寄棟による木造2階建てという穏当な姿とは異なり、その中身は現代的であり過激である。敷地は緑に恵まれた崖地にあり、その中腹をよぎる道路から水平に2階へ入るアクセスと、谷底側の道路から1階へ入るアクセスの2つがあり、2つの周辺環境に応じて各階をプログラムしている。2階は水平方向に開いた九間形式(神代雄一郎)で、9つの3.3m四方の矩形に諸機能を納め(食堂兼集会スペース、階段室ライブラリー、サニタリー、主寝室ほか)、界壁の多くをメッシュ引戸で柔らかに仕切り、九間を横断的に使うことができる。他方の1階は垂直性を備えた貸室群で、共同玄関のほかに4つの貸室ごとにエントランスがあり、建主による個人面接に合格した4名の若者が住んでいる。もともと2階に住む建主夫妻(建築史家の青井哲人さんご夫妻)は子育てを終えた数年前、マンション暮らしを戸建てに切り替えるべく、この「ジャジャハウス」を建てたという。するとご近所から集会所として使わせてほしいという要望があり、2階に子供が児童会館のように溢れる日も多いという。しかも1階には4名の見知らぬ若者が住んでおり、自邸が青少年会館のようにあるだろう。ご婦人は台湾で育ち、大家族型の多人数の暮らしに馴染みがあり、苦もなく対応しているという。変わりゆくアジアの居住様式の未来を先取りしたような、秀逸な建築である。



北鎌倉の山の上に立つ延床面積60㎡強の小住宅。敷地面積は200㎡だが、建物を建てるために基礎を打つことができる場所はほんのわずかであり、ほとんどが急斜面である。その急斜面の上空に、家の平面サイズと同じサイズのテラスが持ち出されている。道路から家へのアプローチはこのテラスの下をくぐる形となっていて、くぐった先にあるハイキングロードは家と隣接しているため、開放的なテラスで過ごしていると、ハイキング客に挨拶されそうな距離感である。テラスは7280mmの片持ちなので、一見とてもアクロバティックな構造に見えるが、基礎を打つことができる場所、そのスパンを見極めた上でのヤジロベエのような均衡をもち、実は合理的である。家というよりも、むしろ、山で暮らすためのベースキャンプのようであり、2階は視界が開けて絶景なので、とても開放感がある。一方、現地審査を経た審査員からは、1階の居住性について少し疑問の声が上がった。もし階高がもう少し大きかったら、もし寝室を1階ではなく2階のテラスとは反対側に設けていたら、など、さまざまな意見が巻き起こったが、それはつまり、この住宅が自分ならこう住みたいという人間の思いを喚起する力があるということの表れではないだろうか。



木材の製材・加工技術や流通の発達により、遠方から木材を調達することが当たり前となった今日、100m以内の裏山から切り出した自然木を、そのまま柱や筋交いなどの構造材として用いる本計画は、むしろ新鮮な魅力を放っていた。応募者自らが裏山に入り木を選定し、計画・設計から施工まで深く関与している点に、この建築に寄せる並々ならぬ思いと実践力がうかがえる。露出する構造ディテールも、3Dスキャン等の技術に裏付けられた高い精度を備えている。自然木という自由度の高い素材を扱いながら、柱の細長比(外形)や筋交いの配置は在来工法の仕様規定に準じており、無理のない堅実な構造計画としてまとめられている点にも好感を抱いた。一方で、その堅実さゆえに全体にはどこか見覚えのあるスケール感も漂っており、自然木の個性がさらに形態の自由さへと展開していく姿も見てみたいように感じた。現在、広葉樹の積極的な活用の研究にも取り組んでいるとのことであり、今後のさらなる活躍と新たな展開を期待して、奨励賞を贈りたい。



ニシケバレイ 都市にありふれた住宅群をつなぎ街区を開く

十数代にわたりオーナーが代々受け継いできた敷地を、池袋駅近くの商業地に隣接する複数の住宅群として段階的に更新する計画である。池袋の様な大都市に訪れる観光客や来街者、不特定多数が行き交う都市環境の中で、住宅を地域に開くことで顔の見えるローカルな関係性を目指した。柵や壁によって分断されていた境界を再編し、路地や土間、ピロティといった中間領域を通して、家族の暮らしが街区や都市と緩やかに関係性を結ぶ。生活の気配が共有され、異なる背景をもつ他者と日常的に交差する。その具体の積み重ねによって、東京の住宅群がグローバルな都市状況を内包するあり方を提示している。

木質棟



飲食店、シェアスペースに



外部にあわせ内部床もアスファルトに



パーゴラが木質棟と集住棟をつなぐ敷地の奥へ誘導する



手摺り壁を撤去しバルコニー側を入りに



共同住宅は店舗賃貸住宅に。出入りの建具は木製で対向可

平屋棟



江戸時代に建てられた門、新設の土間、既存の廊下と時間感を感じる



道路と面を隔てていた柵を撤去しパーゴラと緑帯を設置



私道沿いの柵を撤去しパーゴラを設置。緩やかに領域化された庭



左が平屋棟、右が集住棟



土間から庭と門を介し私道をみる。庭木とパーゴラの縁が重なる



既存の和室は手を付けず土間と建具で屋内外を緩やかにつなぐ



柵と外壁を撤去し道へ活動が促される



パーゴラが道と建物の縁を導く。通路はスリットをあけた

新築棟



分棟により屋敷になじむボリュームと外部を生み出す。多様な屋外の庭場所をつくる



道路を介して隣地の庭に連続するピロティ



分断したヴォリュームを共用部でつなぐ



内土間につながる屋外の共用部



店舗にもつながる住宅の土間



敷地環境：幹線道路沿いの表層の商業地の裏側の住宅群に立地する



路地から新築棟の階段と中庭につながる



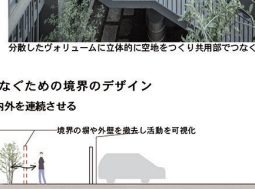
分断したヴォリュームに立体的に空地をつくり共用部でつなぐ



分断したヴォリュームに立体的に空地をつくり共用部でつなぐ



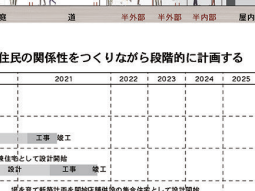
分断したヴォリュームに立体的に空地をつくり共用部でつなぐ



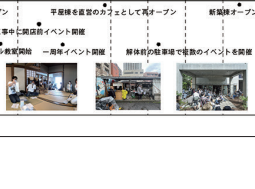
分断したヴォリュームに立体的に空地をつくり共用部でつなぐ



分断したヴォリュームに立体的に空地をつくり共用部でつなぐ



分断したヴォリュームに立体的に空地をつくり共用部でつなぐ



分断したヴォリュームに立体的に空地をつくり共用部でつなぐ

バラバラの建築群をつくるための境界のデザイン

①物理的な境界を撤去し、内外を連続させる



②平外部、半内部など多様な中間領域を設け、内外の境界をぼかす

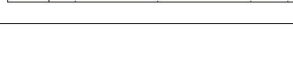


③敷地を超えて奥と外を結び連続させ、街区を一体的につなぐ



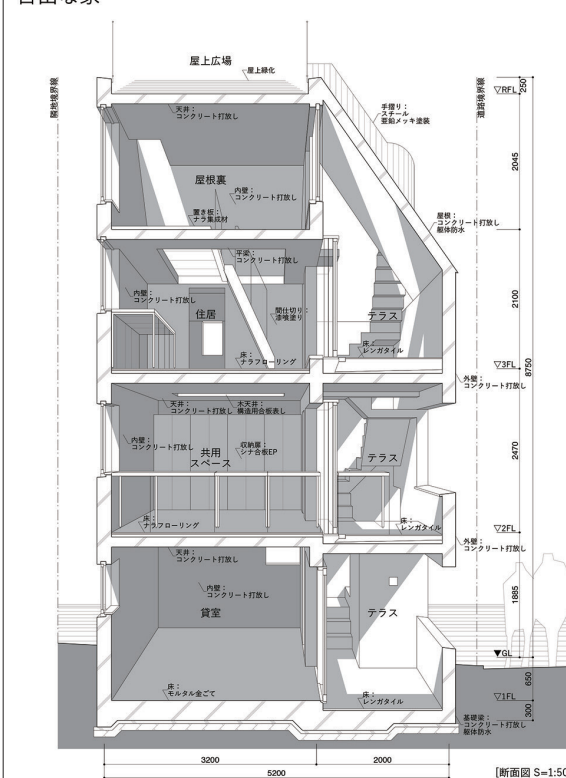
ハードとソフトを横断し住民の関係性をつくりながら段階的に計画する

	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
計画	企画設計	企画設計	企画設計	企画設計	企画設計	企画設計	企画設計
建築	建築	建築	建築	建築	建築	建築	建築
工事	工事	工事	工事	工事	工事	工事	工事
開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業



分断したヴォリュームに立体的に空地をつくり共用部でつなぐ

自由な家



限られた大きさを越える意匠や思想を幾層にも重ね、密度高く設計に反映させることを目指した。一人暮らしの小さな家はシェアスペースを介して社会を内包する。大半を外部化することで生活を拡張する動きをつくり、逆説的に大きく住まうことができる。都市となることが、この家の根源的な希望であった。

建設費高騰の中で細体のヴォリュームを諦めず、ガストン・バシュールのことを指標として、地下室と屋根裏をつくることができた。鉛直軸は大地と天空を繋ぎ、個性的な住まいの顔を都市に示している。地面に埋め込み屋根を架けるという一見土着的な操作は、思想としては宇宙論的な全体性を持つ。大地に根ざした拠点が、人を自由にする。

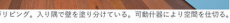
所在地：東京都新大塚区
敷地面積：37.50㎡ (11.2畝)
建築面積：23.40㎡ (7.1畝)
延床面積：57.84㎡ (17.4畝)
用途：住居
構造：鉄筋コンクリート造
竣工：2020年9月

【建築概要】

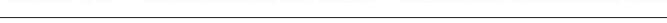
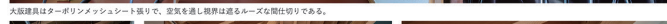
地上1階：住居
地上2階：住居
地上3階：住居
地上4階：住居
地上5階：住居
地上6階：住居
地上7階：住居
地上8階：住居
地上9階：住居
地上10階：住居
地上11階：住居
地上12階：住居
地上13階：住居
地上14階：住居
地上15階：住居
地上16階：住居
地上17階：住居
地上18階：住居
地上19階：住居
地上20階：住居
地上21階：住居
地上22階：住居
地上23階：住居
地上24階：住居
地上25階：住居
地上26階：住居
地上27階：住居
地上28階：住居
地上29階：住居
地上30階：住居
地上31階：住居
地上32階：住居
地上33階：住居
地上34階：住居
地上35階：住居
地上36階：住居
地上37階：住居
地上38階：住居
地上39階：住居
地上40階：住居
地上41階：住居
地上42階：住居
地上43階：住居
地上44階：住居
地上45階：住居
地上46階：住居
地上47階：住居
地上48階：住居
地上49階：住居
地上50階：住居
地上51階：住居
地上52階：住居
地上53階：住居
地上54階：住居
地上55階：住居
地上56階：住居
地上57階：住居
地上58階：住居
地上59階：住居
地上60階：住居
地上61階：住居
地上62階：住居
地上63階：住居
地上64階：住居
地上65階：住居
地上66階：住居
地上67階：住居
地上68階：住居
地上69階：住居
地上70階：住居
地上71階：住居
地上72階：住居
地上73階：住居
地上74階：住居
地上75階：住居
地上76階：住居
地上77階：住居
地上78階：住居
地上79階：住居
地上80階：住居
地上81階：住居
地上82階：住居
地上83階：住居
地上84階：住居
地上85階：住居
地上86階：住居
地上87階：住居
地上88階：住居
地上89階：住居
地上90階：住居
地上91階：住居
地上92階：住居
地上93階：住居
地上94階：住居
地上95階：住居
地上96階：住居
地上97階：住居
地上98階：住居
地上99階：住居
地上100階：住居
地上101階：住居
地上102階：住居
地上103階：住居
地上104階：住居
地上105階：住居
地上106階：住居
地上107階：住居
地上108階：住居
地上109階：住居
地上110階：住居
地上111階：住居
地上112階：住居
地上113階：住居
地上114階：住居
地上115階：住居
地上116階：住居
地上117階：住居
地上118階：住居
地上119階：住居
地上120階：住居
地上121階：住居
地上122階：住居
地上123階：住居
地上124階：住居
地上125階：住居
地上126階：住居
地上127階：住居
地上128階：住居
地上129階：住居
地上130階：住居
地上131階：住居
地上132階：住居
地上133階：住居
地上134階：住居
地上135階：住居
地上136階：住居
地上137階：住居
地上138階：住居
地上139階：住居
地上140階：住居
地上141階：住居
地上142階：住居
地上143階：住居
地上144階：住居
地上145階：住居
地上146階：住居
地上147階：住居
地上148階：住居
地上149階：住居
地上150階：住居
地上151階：住居
地上152階：住居
地上153階：住居
地上154階：住居
地上155階：住居
地上156階：住居
地上157階：住居
地上158階：住居
地上159階：住居
地上160階：住居
地上161階：住居
地上162階：住居
地上163階：住居
地上164階：住居
地上165階：住居
地上166階：住居
地上167階：住居
地上168階：住居
地上169階：住居
地上170階：住居
地上171階：住居
地上172階：住居
地上173階：住居
地上174階：住居
地上175階：住居
地上176階：住居
地上177階：住居
地上178階：住居
地上179階：住居
地上180階：住居
地上181階：住居
地上182階：住居
地上183階：住居
地上184階：住居
地上185階：住居
地上186階：住居
地上187階：住居
地上188階：住居
地上189階：住居
地上190階：住居
地上191階：住居
地上192階：住居
地上193階：住居
地上194階：住居
地上195階：住居
地上196階：住居
地上197階：住居
地上198階：住居
地上199階：住居
地上200階：住居
地上201階：住居
地上202階：住居
地上203階：住居
地上204階：住居
地上205階：住居
地上206階：住居
地上207階：住居
地上208階：住居
地上209階：住居
地上210階：住居
地上211階：住居
地上212階：住居
地上213階：住居
地上214階：住居
地上215階：住居
地上216階：住居
地上217階：住居
地上218階：住居
地上219階：住居
地上220階：住居
地上221階：住居
地上222階：住居
地上223階：住居
地上224階：住居
地上225階：住居
地上226階：住居
地上227階：住居
地上228階：住居
地上229階：住居
地上230階：住居
地上231階：住居
地上232階：住居
地上233階：住居
地上234階：住居
地上235階：住居
地上236階：住居
地上237階：住居
地上238階：住居
地上239階：住居
地上240階：住居
地上241階：住居
地上242階：住居
地上243階：住居
地上244階：住居
地上245階：住居
地上246階：住居
地上247階：住居
地上248階：住居
地上249階：住居
地上250階：住居
地上251階：住居
地上252階：住居
地上253階：住居
地上254階：住居
地上255階：住居
地上256階：住居
地上257階：住居
地上258階：住居
地上259階：住居
地上260階：住居
地上261階：住居
地上262階：住居
地上263階：住居
地上264階：住居
地上265階：住居
地上266階：住居
地上267階：住居
地上268階：住居
地上269階：住居
地上270階：住居
地上271階：住居
地上272階：住居
地上273階：住居
地上274階：住居
地上275階：住居
地上276階：住居
地上277階：住居
地上278階：住居
地上279階：住居
地上280階：住居
地上281階：住居
地上282階：住居
地上283階：住居
地上284階：住居
地上285階：住居
地上286階：住居
地上287階：住居
地上288階：住居
地上289階：住居
地上290階：住居
地上291階：住居
地上292階：住居
地上293階：住居
地上294階：住居
地上295階：住居
地上296階：住居
地上297階：住居
地上298階：住居
地上299階：住居
地上300階：住居
地上301階：住居
地上302階：住居
地上303階：住居
地上304階：住居
地上305階：住居
地上306階：住居
地上307階：住居
地上308階：住居
地上309階：住居
地上310階：住居
地上311階：住居
地上312階：住居
地上313階：住居
地上314階：住居
地上315階：住居
地上316階：住居
地上317階：住居
地上318階：住居
地上319階：住居
地上320階：住居
地上321階：住居
地上322階：住居
地上323階：住居
地上324階：住居
地上325階：住居
地上326階：住居
地上327階：住居
地上328階：住居
地上329階：住居
地上330階：住居
地上331階：住居
地上332階：住居
地上333階：住居
地上334階：住居
地上335階：住居
地上336階：住居
地上337階：住居
地上338階：住居
地上339階：住居
地上340階：住居
地上341階：住居
地上342階：住居
地上343階：住居
地上344階：住居
地上345階：住居
地上346階：住居
地上347階：住居
地上348階：住居
地上349階：住居
地上350階：住居
地上351階：住居
地上352階：住居
地上353階：住居
地上354階：住居
地上355階：住居
地上356階：住居
地上357階：住居
地上358階：住居
地上359階：住居
地上360階：住居
地上361階：住居
地上362階：住居
地上363階：住居
地上364階：住居
地上365階：住居
地上366階：住居
地上367階：住居
地上368階：住居
地上369階：住居
地上370階：住居
地上371階：住居
地上372階：住居
地上373階：住居
地上374階：住居
地上375階：住居
地上376階：住居
地上377階：住居
地上378階：住居
地上379階：住居
地上380階：住居
地上381階：住居
地上382階：住居
地上383階：住居
地上384階：住居
地上385階：住居
地上386階：住居
地上387階：住居
地上388階：住居
地上389階：住居
地上390階：住居
地上391階：住居
地上392階：住居
地上393階：住居
地上394階：住居
地上395階：住居
地上396階：住居
地上397階：住居
地上398階：住居
地上399階：住居
地上400階：住居
地上401階：住居
地上402階：住居
地上403階：住居
地上404階：住居
地上405階：住居
地上406階：住居
地上407階：住居
地上408階：住居
地上409階：住居
地上410階：住居
地上411階：住居
地上412階：住居
地上413階：住居
地上414階：住居
地上415階：住居
地上416階：住居
地上417階：住居
地上418階：住居
地上419階：住居
地上420階：住居
地上421階：住居
地上422階：住居
地上423階：住居
地上424階：住居
地上425階：住居
地上426階：住居
地上427階：住居
地上428階：住居
地上429階：住居
地上430階：住居
地上431階：住居
地上432階：住居
地上433階：住居
地上434階：住居
地上435階：住居
地上436階：住居
地上437階：住居
地上438階：住居
地上439階：住居
地上440階：住居
地上441階：住居
地上442階：住居
地上443階：住居
地上444階：住居
地上445階：住居
地上446階：住居
地上447階：住居
地上448階：住居
地上449階：住居
地上450階：住居
地上451階：住居
地上452階：住居
地上453階：住居
地上454階：住居
地上455階：住居
地上456階：住居
地上457階：住居
地上458階：住居
地上459階：住居
地上460階：住居
地上461階：住居
地上462階：住居
地上463階：住居
地上464階：住居
地上465階：住居
地上466階：住居
地上467階：住居
地上468階：住居
地上469階：住居
地上470階：住居
地上471階：住居
地上472階：住居
地上473階：住居
地上474階：住居
地上475階：住居
地上476階：住居
地上477階：住居
地上478階：住居
地上479階：住居
地上480階：住居
地上481階：住居
地上482階：住居
地上483階：住居
地上484階：住居
地上485階：住居
地上486階：住居
地上487階：住居
地上488階：住居
地上489階：住居
地上490階：住居
地上491階：住居
地上492階：住居
地上493階：住居
地上494階：住居
地上495階：住居
地上496階：住居
地上497階：住居
地上498階：住居
地上499階：住居
地上500階：住居
地上501階：住居
地上502階：住居
地上503階：住居
地上504階：住居
地上505階：住居
地上506階：住居
地上507階：住居
地上508階：住居
地上509階：住居
地上510階：住居
地上511階：住居
地上512階：住居
地上513階：住居
地上514階：住居
地上515階：住居
地上516階：住居
地上517階：住居
地上518階：住居
地上519階：住居
地上520階：住居
地上521階：住居
地上522階：住居
地上523階：住居
地上524階：住居
地上525階：住居
地上526階：住居
地上527階：住居
地上528階：住居
地上529階：住居
地上530階：住居
地上531階：住居
地上532階：住居
地上533階：住居
地上534階：住居
地上535階：住居
地上536階：住居
地上537階：住居
地上538階：住居
地上539階：住居
地上540階：住居
地上541階：住居
地上542階：住居
地上543階：住居
地上544階：住居
地上545階：住居
地上546階：住居
地上547階：住居
地上548階：住居
地上549階：住居
地上550階：住居
地上551階：住居
地上552階：住居
地上553階：住居
地上554階：住居
地上555階：住居
地上556階：住居
地上557階：住居
地上558階：住居
地上559階：住居
地上560階：住居
地上561階：住居
地上562階：住居
地上563階：住居
地上564階：住居
地上565階：住居
地上566階：住居
地上567階：住居
地上568階：住居
地上569階：住居
地上570階：住居
地上571階：住居
地上572階：住居
地上573階：住居
地上574階：住居
地上575階：住居
地上576階：住居
地上577階：住居
地上578階：住居
地上579階：住居
地上580階：住居
地上581階：住居
地上582階：住居
地上583階：住居
地上584階：住居
地上585階：住居
地上586階：住居
地上587階：住居
地上588階：住居
地上589階：住居
地上590階：住居
地上591階：住居
地上592階：住居
地上593階：住居
地上594階：住居
地上595階：住居
地上596階：住居
地上597階：住居
地上598階：住居
地上599階：住居
地上600階：住居
地上601階：住居
地上602階：住居
地上603階：住居
地上604階：住居
地上605階：住居
地上606階：住居
地上607階：住居
地上608階：住居
地上609階：住居
地上610階：住居
地上611階：住居
地上612階：住居
地上613階：住居
地上614階：住居
地上615階：住居
地上616階：住居
地上617階：住居
地上618階：住居
地上619階：住居
地上620階：住居
地上621階：住居
地上622階：住居
地上623階：住居
地上624階：住居
地上625階：住居
地上626階：住居
地上627階：住居
地上628階：住居
地上629階：住居
地上630階：住居
地上631階：住居
地上632階：住居
地上633階：住居
地上634階：住居
地上635階：住居
地上636階：住居
地上637階：住居
地上638階：住居
地上639階：住居
地上640階：住居
地上641階：住居
地上642階：住居
地上643階：住居
地上644階：住居
地上645階：住居
地上646階：住居
地上647階：住居
地上648階：住居
地上649階：住居
地上650階：住居
地上651階：住居
地上652階：住居
地上653階：住居
地上654階：住居
地上655階：住居
地上656階：住居
地上657階：住居
地上658階：住居
地上659階：住居
地上660階：住居
地上661階：住居
地上662階：住居
地上663階：住居
地上664階：住居
地上665階：住居
地上666階：住居
地上667階：住居
地上668階：住居
地上669階：住居
地上670階：住居
地上671階：住居
地上672階：住居
地上673階：住居
地上674階：住居
地上675階：住居
地上676階：住居
地上677階：住居
地上678階：住居
地上679階：住居
地上680階：住居
地上681階：住居
地上682階：住居
地上683階：住居
地上684階：住居
地上685階：住居
地上686階：住居
地上687階：住居
地上688階：住居
地上689階：住居
地上690階：住居
地上691階：住居
地上692階：住居
地上693階：住居
地上694階：住居
地上695階：住居
地上696階：住居
地上697階：住居
地上698階：住居
地上699階：住居
地上700階：住居
地上701階：住居
地上702階：住居
地上703階：住居
地上704階：住居
地上705階：住居
地上706階：住居
地上707階：住居
地上708階：住居
地上709階：住居
地上710階：住居
地上711階：住居
地上712階：住居
地上713階：住居
地上714階：住居
地上715階：住居
地上716階：住居
地上717階：住居
地上718階：住居
地上719階：住居
地上720階：住居
地上721階：住居
地上722階：住居
地上723階：住居
地上724階：住居
地上725階：住居
地上726階：住居
地上727階：住居
地上728階：住居
地上729階：住居
地上730階：住居
地上731階：住居
地上732階：住居
地上733階：住居
地上734階：住居
地上735階：住居
地上736階：住居
地上737階：住居
地上738階：住居
地上739階：住居
地上740階：住居
地上741階：住居
地上742階：住居
地上743階：住居
地上744階：住居
地上745階：住居
地上746階：住居
地上747階：住居
地上748階：住居
地上749階：住居
地上750階：住居
地上751階：住居
地上752階：住居
地上753階：住居
地上754階：住居
地上755階：住居
地上756階：住居
地上757階：住居
地上758階：住居
地上759階：住居
地上760階：住居
地上761階：住居
地上762階：住居
地上763階：住居
地上764階：住居
地上765階：住居
地上766階：住居
地上767階：住居
地上768階：住居
地上769階：住居
地上770階：住居
地上771階：住居
地上772階：住居
地上773階：住居
地上774階：住居
地上775階：住居
地上776階：住居
地上777階：住居
地上778階：住居
地上779階：住居
地上780階：住居
地上781階：住居
地上



配置図 1/1500



どうして愛憎しているキャラクターが
この舞台の中心になる?



住宅建築賞受賞者プロフィール

ニシケバレイ



須藤 剛
SUDO H Tsuyoshi

1980年：埼玉県生まれ
2003年：法政大学工学部土木工学科卒業
2008年：北川原温建築都市研究所勤務
2012年：須藤剛建築設計事務所設立

自由な家



阿部 勤
ABE Tsutomu

1936年：東京都生まれ
1960年：早稲田大学理工学部建築学科卒業
1960年～：坂倉準三建築研究所勤務
1971年：アーキヴィジョン建築研究所共同主宰
1975年：アルテック建築研究所共同主宰
1984年：アルテック設立
2023年：86歳にて逝去



吉田 州一郎 (写真:左)
YOSHIDA Kuniichiro

1974年：長崎県生まれ
1997年：慶應義塾大学経済学部卒業
2005年：早稲田大学大学院修士課程修了
2005年～：設計事務所、鉄鋼メーカー勤務
2015年：アキチ アーキテクト共同設立

吉田 あい (写真:右)
YOSHIDA Ai

1980年：広島県生まれ
2007年：早稲田大学大学院修士課程修了
2007年～：クライン ダイサム アーキテクト、スピーク
2015年：アキチ アーキテクト共同設立

上原坂道のマンション



向山 裕二
MUKAIYAMA Yuji

1985年：広島県生まれ
2008年：東京大学工学部建築学科卒業
2008～10年：渡邊健介建築設計事務所 (kwas)
2011年：スイス連邦工科大学チューリッヒ校交換留学
2012年：Christian Kerez
2013年：東京大学大学院工学系研究科建築学専攻修了
2013～15年：渡邊健介建築設計事務所 (kwas)
2015年：DORELL.GHOTMEH.TANE ARCHITECTS
2018年：ウルタスタジオ設立
2021年：東京大学大学院工学系研究科非常勤講師



笹田 侑志
SASADA Yushi

1987年：福岡県生まれ
2011年：九州大学芸術工学部環境設計学科卒業
2012年：スイス連邦工科大学チューリッヒ校交換留学
2014年：東京大学新領域創成科学研究科社会文化環境学専攻修了
2014～2019年：青木淳建築計画事務所 (現AS)
2020年：ウルタスタジオ参画
2021～2025年：東京藝術大学大学院美術研究科建築専攻
教育研究助手



上野 有里紗
UENO Alyssa

1986年：東京都生まれ
2010年：ロンドン大学ゴールドスミスカレッジ視覚文化論学部卒業
2013年：AAスクール インターメディアートスクール卒業
2013年：フォスター・アンド・パートナーズ
2018年：英国王立芸術大学院大学 建築学専攻修了
2019年：ウルタスタジオ参画



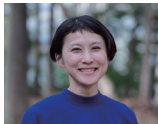
井上 大裕
INOUE Daiyu

1999年：千葉県生まれ
2022年：東京藝術大学美術学部建築学科卒業
2022年～：ウルタスタジオ

池田 章人
IKEDA Akio

ウルタスタジオ元所員

ジャジャハウス



澤田 茉莉子
SAWADA Mariko

1982年：神奈川県生まれ
2005年：日本大学生産工学部建築工学科卒業
2005年：谷内田章夫ワークショップ
2014年：KITI一級建築士事務所主宰
2019年：Camp design inc. 共同主宰
2022年：株式会社KITI 取締役



藤田 雄介
FUJITA Yusuke

1981年：兵庫県生まれ
2005年：日本大学生産工学部建築工学科卒業
2007年：東京都市大学 (旧：武蔵工業大学) 大学院工学研究科修了
2008～09年：手塚建築研究所
2010年：Camp Design inc. 設立
現在：東京都市大学、法政大学、日本大学、東京電機大学、文化学園大学
非常勤講師



寺澤 宏亮
TERAZAWA Kosuke

1996年：愛知県生まれ
2020年：明治大学理工学部建築学科 (青井哲人研究室) 卒業
2022年：明治大学大学院理工学研究科博士前期課程 (同研究室) 修了
2022～2023年：Camp Design inc.
2024年～：株式会社KITI



青井 哲人 (写真:左)
AOI Akihito

1970年：愛知県生まれ
1995年：京都大学大学院工学研究科建築学専攻博士課程中退
1995～2000年：神戸芸術工科大学助手
2002～2008年：人間環境大学准教授
2008年～：明治大学准教授 (2017年～教授)

青井 亭菲 (写真:右)
AOI Fay

1965年：台湾・台中市生まれ
1994年：神戸芸術工科大学視覚情報デザイン学科卒業
1996年：神戸芸術工科大学大学院視覚情報デザイン学専攻修了
1996～2008年：藤田建築設計事務所勤務
2017～2026年：東京大学教養学部教養教育高度化機構勤務

MEIGETSU-K



可児 公一 (写真:右)
KANI Koichi

1982年：岡山県生まれ
2006年：近畿大学工学部建築学科卒業
2006年：後藤武建築設計事務所
2011年：建築設計事務所 可児公一植美雪設立
2014年～：近畿大学工学部非常勤講師

植 美雪 (写真:左)
UE Miyuki

1984年：広島県生まれ
2006年：近畿大学工学部建築学科卒業
2006年：吉村靖孝建築設計事務所
2011年：建築設計事務所 可児公一植美雪設立
2014～2018年：近畿大学工学部非常勤講師
2019年～：国土館大学非常勤講師

里山だった場所と融合する家



森屋 隆洋
MORIYA Takahiro

1983年：神奈川県生まれ
2008年：東海大学大学院工学研究科建築学専攻修了
2008年：計画・環境建築
2011年：MORIYA AND PARTNERS設立
2025年：MAP設立
2026年：東京大学大学院農学生命科学研究科生物材料科学専攻在学

あなたの夢を Build your Dreams 実現しよう

多方面から資格取得をサポートする、
日建学院の強み

全国47都道府県
114校展開

合格実績 映像講義
個人分析 日建学院 全国統一講義
適正価格 名物講師

夢の架け橋 日建学院

さあ、あなたの力を
発揮しよう

人材育成・資格取得のご相談は最寄校へお気軽にどうぞ!

池袋校 TEL.03-3971-1101 **上野校** TEL.03-5818-0731
新橋校 TEL.03-6858-4650 **吉祥寺校** TEL.0422-28-5001

新宿校 TEL.03-6894-5800
北千住校 TEL.03-6850-0120
立川校 TEL.042-527-3291

ハウジング分野の専門家集団として 人間居住の向上に貢献する

ICHIURA

HOUSING & PLANNING

株式会社市浦ハウジング&プランニング

本社 113-0033
東京都文京区 1丁目 28-34
tel.03-5800-0901

GPU点検口
熱貫流率 1.44w/㎡・K

FCM断熱タイプ
熱貫流率 1.74w/㎡・K

VELUX®

トップライト(天窗)の
グローバルブランド

日本ベルックス株式会社

https://www.velux.co.jp TEL0570-00-8141

田中道子さん
令和4年度一級建築士合格
総合資格学院のおかげで人生変わりました。
総合資格学院イメージキャラクター
令和4年度一級建築士試験合格
当学院受講生・俳優
田中 道子さん

一分、一秒を積み重ねた日々。
信じられる環境だから、迷わなかった。

重要なのは、「近年」の合格実績!

1級建築士 合格実績 No.1

平成28～令和7年度 1級建築士 学科+設計製図試験

全国ストレート
合格者占有率
10年間 **59.2%**

他講習
利用者
当学院
受講生

全国ストレート合格者合計 14,345名中 / 当学院受講生 8,493名

★学科・製図ストレート合格者とは、1級建築士学科試験に合格し、同年度の1級建築士設計製図試験にストレートで合格した方です。 ※当学院のNo.1に関する表示は、公正取引委員会「No.1表示に関する実態調査報告書」に基づき掲載しております。 ※全国ストレート合格者数は、(公財)建築技術教育普及センター発表に基づきます。 ※総合資格学院の合格実績には、模範試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。 (令和7年12月24日現在)

総合資格学院

スクールサイト www.shikaku.co.jp コーポレートサイト www.sogoshikaku.co.jp
LINE ⇒「総合資格学院」 Instagram ⇒「sogoshikaku_official」 X ⇒「@shikaku_sogo」で検索!